

●可決した意見書（2件）

- ① B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書
- ② 「原子力事故子ども・被災者支援法」に基づく施策の早期具体化等を求める意見書

1月臨時市議会

平成25年1月15日に開会し、市長から専決処分の報告を受けた後、さくら住座再生事業（第1期）工事請負契約の締結についての議案を審議し、全会一致で同意して閉会しました。

議会トピックス

海外調査レポート ～アジア行政視察訪問団～

平成25年1月29日～2月4日の日程で、12名の議員が、シンガポール、ベトナム、タイの諸都市を訪問し、調査を行いました。その一部を掲載します。

●産業・経済活性化施策

（財）自治体国際化協会（シンガポール市）を訪問し、政治、経済、産業などの現状について意見交換を行い、市内のコンベンション施設を視察し、コンベンションがもたらすさまざまな経済波及効果について調査しました。

また、日本貿易振興機構（ホーチミン市）を視察し、ベトナムの経済状況や市場としてのベトナムの現状、インフラ整備、税制度などについて意見交換を行い、本市から進出している企業を訪問し、進出に当たってのメリット・デメリット、今後の課題などについて実体験に基づいた貴重な意見を聞くことができました。

●電子図書館システム

本にタグを取り付け情報を読み取るシステムを世界で初めて導入したトア・パヨ図書館（シンガポール市）

では、QRコードの読み取りによる情報収集や英語、中国語、マレー語など多言語への対応といった、多民族国家であるシンガポールならではの取り組みが行われていました。



電子図書館システムを学ぶ ～シンガポール市～

●医療ツーリズム施策

医療ツーリズム先進国であるタイの中でも最先端であるパムルンラード病院（バンコク市）を視察しました。当病院は、アメニティーや異文化への対応が大変充実しており、外国人患者数が世界190カ国、年間40万人に及んでいます。地域医療への貢献だけでなく、地域経済への波及効果についても高く評価できるものでした。

常任委員会審査から

審査の過程で特に議論となった点について、委員長報告の要旨を掲載

総務委員会

■平成25年度の機構改革

委員 新たに「岡山っ子育て局」が創設されるが、準備は十分なのか。人員配置も含めて全庁的にフォローすることが重要ではないか。

市 関係局室が総合的に調整を図りながら、スムーズに移行できるように進めていく。

委員 現場が混乱しないように、

できる限りの準備をし、マンパワーについてもきちんとした対応をしてほしい。

■指定管理候補者選定委員会の設置

委員 なぜ常設の委員会が必要なのか。また、委員の選び方の基準を示してほしい。

市 選定過程の透明性、客観性をより高めるとともに、ほぼ毎年公募があるので設置する。多数の中からその施設にあった形

での選考を行い、選定の中で利用者代表の意見も取り入れていくべきと考えている。

委員 指定管理者の候補者の公募、非公募を決定することについては、合理的ということだけで判断せず、もう一度精査、整理してもらいたい。

市 しっかりした基準は必要である。施設や政策目的は個々に違うということを踏まえ、よく検討したい。

保健福祉委員会

■幼保一体化推進事業について
一試行的な運営を通して、一体的な施設運営が円滑に行えるよう、問題点や課題等を整理し改善するため、幼保一体型施設及び隣接する一部の公立幼稚園・公立保育園について、施設整備等を行おうとするもの一

委員 岡南、中山、太伯の3園に関しては、環境が整わないと幼保一体化の試行はしないとのことであったが、順番としては、関係者との信頼を回復して、それから施設等のハード整備ではないか。試行を開始する前から予算をつけ、教室だけ先に改修するのか。

市 予算が成立すれば、施設整備等について保護者や地元の方々に説明し、理解、納得していただいた上で進めていく。

委員 関係者の理解を得た上で、施設整備に入るかどうか、委員会にきちんと報告してほしい。

市 説明が足りなかったところ、少しなし崩しのように感じられた部分については反省したい。議会には経過等を説明しながら進めていきたい。

環境消防水道委員会

■E S Dに関する
ユネスコ世界会議へ向けて

委員 もう一つの開催地である名古屋市などとの連携は。また、海外、特にアジア圏への呼び掛けは考えているのか。

市 開催地として、情報交換を密にし、名古屋市での取りまとめ会合を意識しながら取り組んでいる。また、海外に向けては、アジアでの関連会議に職員を派遣し、本番の会議をアピールする。実行委員会では、8月を

めに会議の計画をまとめ、アジアを中心に発信し、会議の周知を行い、たくさんの人に来てもらえるよう取り組んでいく。

経済委員会

■三丁目劇場を廃止

一三丁目劇場を平成25年3月31日をもって廃止しようとするもので、閉館せざるを得なくなった要因等の分析を含めた総括があった一

委員 吉本興業撤退後にどのような努力をしてきたのか明確でない。地元の意向も大切であるが、市がどの程度主体性を持って今後の方向性を決定していくのか。

市 地元からは集客性の高い施設を望む声が強いが、ターゲットにする利用者や、その利用者をどのように商店街の活性化に結びつけていくのかが重要であり、丁寧に検討していく必要があると認識している。そのために幅広く意見を聞いていきたい。

建設委員会

■まちなか緑化の推進を

委員 平成26年度にはE S D世界会議があり、世界各国からさまざまな人々が集まる。自転車レーンや駐輪場の整備を実施する予定の桃太郎大通りをはじめとする中心部に、集中して緑を増やしてほしい。

市 E S D世界会議に訪れた人々の印象に残るよう、市街地の緑化に積極的に取り組んでいきたい。

■東日本大震災で被災した
岡山大学生に市営住宅を提供

委員 大学生が岡山を選んで定住していく大きなきっかけになる。今後も、にぎわい創出の観点から、大学等と連携して市営

住宅の活用等を検討してほしい。

市 市営住宅を提供することによって、にぎわいの創出や岡山への定住が促進されるので、連携していきたい。

市民文教委員会



建て替えが検討されている
岡山市民会館

■新しい岡山市民会館の整備

一老朽化等の課題を抱えている岡山市民会館について、旧後楽館中学・高等学校天神校舎跡地を候補地とし、市民文化ホールの機能を兼ね備え、カルチャーゾーン一帯の魅力アップやにぎわい創出につなげる、新たな施設整備に向けた可能性等を検証する一

委員 本会議の質問で表町の千日前を候補地という案が出たが、どのように考えているのか。

市 今回の調査費については、市民会館の諸機能、他都市に負けない舞台機能とは何かといった考え方を整理し、市民会館の機能的な面を重点的に固めていきたいと考えている。

候補地は今のところ旧後楽館中学・高等学校天神校舎跡地であるが、その場所が絶対ということではなく、用地が確保できるかどうかによって他の候補地等の考え方も出てくる。